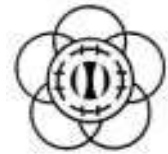


大いちょう

平成30年5月1日 第2号
～元気な歌声 小手指小 自慢～

学びあい
はげましあい
高めあい



3つの「あい」 校長 垣内 眞哉



1滴の水がやがて…



たいていの人には、あとから思い出して、「あの時、大人への階段を上ったな」と思える出来事があるそうです。私にも、そんな出来事がありました。

1つ目は、大学生になってボランティア活動を始めた頃、電車の中で、向かいに座る人々をぼんやり眺めながら、「ここに座る1人1人に家庭があり、それぞれ違う人生を歩んでいるんだなあ。」としみじみ思ったことです。自他の区別がはっきりと実感できた瞬間だったのだと思います。

2つ目は、やはり20歳の頃、千葉県保田海岸で障がいのある子ども達のキャンプの指導員をしていたとき、「海は広く、雲は白く、空は青く、子どもは今を生きている」と突然感じたことです。自然の崇高さを実感し、更に子どものエネルギーを感じた瞬間でした。そして、自分は「自分が思うほどには大きな存在ではない」ことに気づいた瞬間でもありました。

どちらも、唐突にやってきた実感を伴う『気づき』でした。まるで天から降ってきたような、豊かな、そして身の引き締まる「気づき」でした。



全校朝会で、ブリキのバケツを手に、こんな話をしました。

「このバケツに、水を一杯入れます。今、水が入っているかどうか、みなさんから見えますか？」

「見えません。」と子どもたち。

「もう一杯入れてみます。今度はどうでしょう？」

「まだ見えない。」

「では、いつ見えるようになる？」

「水が、バケツからあふれる時！」と大きな声が聞こえました。

「そうですね、バケツからあふれるまでは、水はいくら入れても見えない。でも、あふれた瞬間に見えますね。同じように、毎日の努力は目に見えないけど、あふれた時にそれまでの努力の成果は見えるんですよ。そうすると、がんばろうって気持ちになるでしょう？」と話しました。



先述の20歳頃の出来事も、さまざまなボランティア活動や、読書、葛藤などが私のバケツに少しずつ溜まり、ある日唐突に「気づき」がやってきたのかもしれませんが。それまでの名もない出来事の集積が、「気づき」を生んだのかもしれないのです。

そう考えると、子どもたちにいつかやってくる「気づき」のために「一滴の水」を入れ続ける作業（地域や保護者の皆様、そして私たち教師の関わり）は、なんと夢のある作業でしょう。

一つとしていい加減にはできないけれど、結果は溢れる時にしか見えない…。懸命に一滴を入れ続けることが、明日の子どもたちの価値ある「気づき」を育てていると信じ、日々頑張っていきたいと思っています。

はみだし

参観・懇談会では多数の保護者の皆様にお越し頂き、ありがとうございました。全ての懇談会に顔を出せず申し訳ありませんでした。本当に懐かしい再会がありました。かつて中学時代に担任であったり数学の授業や部活動と一緒に汗を流した当時の生徒とここで保護者として再会できたことを嬉しく感じました。と同時に、小手指小の校長として精一杯頑張ろうと心が引き締められました。

避難訓練を行いました

万一の地震を想定した訓練を行いました。緊急地震速報の音が流れると、子供たちは机の下にもぐります。この十数秒間の行動が大事です。

次に家庭科室からの火災のため校庭に避難しました。新しい教室からの避難経路を確認



しました。全校児童が約5分間で集合することができました。真剣に取り組む姿が見られました。



- ① 自分の身は自分で守る！
- ② まわりの人を考えて行動する！

交通事故に気をつけて

市内では4月に入り、すでに数件の小中学生の交通事故が発生しております。

本校では、5月25日に交通安全教室を行います。連休を迎えますので、事故防止について、ご家庭でもお子様に再度お話をさせていただければと思います。

【交通事故防止 5つの行動】

『もしかして』 『とまる』 『みる』
『まつ』 『たしかめる』

- ・自転車の乗り方
 - ・キックボード等の安全な遊び方
- ご家庭でお話してください。



1年生の給食の様子

自校給食である本校は八木栄養教諭が成長期の子供たちにとって栄養価のある美味しいメニュー



を考えています。北校舎1階の調理室では市委託メフォスの調理員さん達が朝7時から手際よく準備を行っています。

さて、1年生の給食が4月16日から始まっています。担任、八木先生、支援員が見守る中、給食当番さんはしっかりと盛り



付けをすることができます。

みんなで一緒に食べる給食は美味しく、楽しい時間です。

外国語の授業



5、6年生は毎週外国語の授業があります。AET(アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー)

スティーブ先生、外国語支援員の奥濱先生が、授業をサポートしてくれます。

これまでは「話す」「聞く」ことを中心に活動していましたが、今後、更に「書く」「読む」という学習が行われます。

本校は、外国語の授業づくりの研究を重ね、児童にとってわかりやすく、楽しく、学習内容が身につく授業を目指しています。



【ご連絡とお願い】

- ・生活のリズムを整えて、元気な心と体で一日を過ごすことで、子供たちは健やかに成長します。そのためには「早寝」「早起き」「朝ごはん」が大切だと思います。大型連休がありますが、生活のリズムを整えて登校するようお願いいたします。
- ・スマートフォンだけでなく、ゲーム機でも「他人」につながります。ネットの怖さについて親子で話題にしてほしいと思います。市内小中学校で携帯などに起因したトラブルが起きています。正しい知識や対応を身につけることでトラブルを未然に防げます。